



公明こうべ

2020年
vol.1

発行：公明党神戸市議員団 神戸市中央区加納町6-5-1
<http://www.kobe-komei.net>



新たな視点で多様な人材の確保を

常任委員会と特別委員会では補正予算のほか各議案や参考人聴取、そして一般質問など活発な議論が行われました。今後も公明党神戸市会議員団は「小さな声を聴く力」を十分に発揮し、市民福祉向上のため働いてまいります。

学童保育の充実を目指す

■過密対策を進めよ

幼保無償化にもなつて今後学童保育ニーズの増加が予想されるなかで、学童保育施設の過密対策のため計画的な施設整備が必要と指摘したことを受けて、「令和6年には今よりおよそ2400人増加が見込まれていることから、小学校だけでなく地域の会館や民間ビルなどを確保し対応していきたい」と積極的な答弁がありました。

■開所時間を午前8時に

共働きの増加によって土曜日や夏休みなど長期休業日の開所時間を早めてほしいとの声に応えるため、全ての施設で開所時間を朝8時にするよう要望したところ、「令和3年度中には全ての施設で実施できるように取り組んでいく」と前向きな答弁がありました。また、その際には早朝開設に対応するための人材確保の重要性と、相応の助成が必要であることを強く要望しました。



トピックス

1 しあわせの村に新たな冒険遊具

北区の「しあわせの村」に新たな冒険遊具「BOUKEN Adventure Park」が11月30日にオープンしました。(有料)

ジップラインやネットウォークなどで木々の間を渡って楽しむ3つのチャレンジコース「ツリートップアドベンチャー」、子どもたちが木の遊具や絵本とふれあいながら楽しめる屋内プレイルーム「キッズルーム」、キッズルーム屋上部分に立てた柱の間を渡って遊ぶアスレチック遊具「ルーフトップアドベンチャー」の3つを設置しました。

●詳しくは公益財団法人こうべ市民福祉振興協会
電話078-743-8092



2 こどものための図書館

建築家の安藤忠雄氏より建築し寄贈したいというご提案があった「こどものための図書館」の計画概要が発表されました。

場所は神戸市中央区加納町6丁目東遊園地内(南エリア)で、建物は鉄筋コンクリート造り地上3階建てになる予定です。



外観完成予想パース

3 おいしい蜂蜜「Rikyu Honey」を販売

須磨離宮公園では、3月から養蜂を開始し、離宮公園内で採集した蜂蜜「Rikyu Honey」の販売を園内限定で開始しました。

「Rikyu Honey」は園内のレストラン「GARDEN PARTAGE (ガーデンパタジェ)須磨離宮」のほか、正門、植物園観賞温室2階「Botanical Cafe(ボタニカルカフェ)※土日のみ」で購入できます。

神戸女子大家政学部の協力を得て、「Rikyu Honey」を使用した家庭でも調理しやすい主菜やお菓子など8品の作り方を掲載したレシピカードも作成し、須磨区役所で配布しています。



4 がん対策条例の改正 治療と就労の両立についての啓発活動の推進を!

公明党が主導して制定した、がん対策を総合的に推進するための「神戸市がん対策推進条例」が平成26年4月1日より施行されています。

今回、がん患者の就労に関する啓発活動を始め、日々の生活を送る上で必要となる、「継続就労」、「職場復帰」、「新規就労」などがん患者の就労に関する支援を強化するために同条例を改正(令和2年1月1日施行)しました。



目覚めると未来都市

近年、技術の進歩が著しい。

人口知能(AI)、自動運転、太陽光発電などの再生可能エネルギー、再生医療などの進歩は、私たちの仕事や生活を一変させます。公明党は、市民のご要望解決のため、技術の進歩を踏まえた政策づくりを提案し、議会に「未来都市創造に関する特別委員会」を設けました。

交通事故ゼロ、排気ガスゼロ

検討テーマの一つが交通問題。交通安全の市民相談は多く、信号機やカーブミラー、横断歩道のご要望は後を絶ちません。これを解決する新技術は、「自動運転」。人に代わりコンピュータやセンサーが自動車を運行します。居眠り、飲酒運転、スピード違反もなくなり交通事故はゼロになります。自動車はすべて電気自動車になり排気ガスもなくなります。

自家用車がなくなり駐車場も不要

自動運転となれば、みなで車をシェアでき自家用車はなくなり、家の駐車場もいらなくなります。そもそも車の95%は動いておらず、車は余っているのです。車も駐車場もいらなくなると家計は大いに助かります。移動は自動運転のタクシーかバスなどの公共交通。

キャッシュレス、チケットレス

カード1枚で鉄道、バス、タクシー、自転車などすべての乗り物を利用できるサービスがすぐ目の前にやってきました。チケットはなくなり改札も不要になり、鉄道のすぐ横に自動運転のバスやタクシーがきてそのまま乗り換えができ、極めて便利でバリアフリー。もちろんキャッシュレス。

未来都市の姿

これは夢物語ではありません。欧米でもお隣の韓国でも交通機関は1枚のカードで乗れる仕組みがスタート。神戸でも高齢者の足としてバスを走らせてほしいとのご要望にお応えするため、無人ミニバスの自動運転試験も行っています。人間中心主義の公明党。くらしの安全、安心、便利を追求し未来都市を創造して参ります。



平成30年12月に北区筑紫が丘でミニバスの自動運転試験を実施

久元市長へ予算要望 令和2年度予算への反映を約束

令和2年度の予算編成を前にして、公明党神戸市会議員団は、久元市長へ予算要望書を手渡しました。

席上、冒頭に教育の充実と格差解消の福祉施策の促進を強く求めた後、336の要望項目の中から①いじめ対策の拡充 ②ガードレール設置による通学路の安全対策 ③学童保育の過密対策や施設への見守りカメラの設置 ④待機児童対策 ⑤防災体制

の一層の整備 ⑥芸術文化の振興策 ⑦広報の充実によるがん対策の推進 ⑧高齢者の社会参画支援策の充実 ⑨ひきこもり支援の拡充 ⑩動物愛護センターの設置などについて市長と意見交換をしました。

久元市長は、それぞれの課題の現状と今後の考えを答えた後、「本日の要望を来年度予算に反映できるように検討していく」と応じました。



【見守りカメラの設置を】
こどもの安全を確保するために児童館や学童保育施設の屋内に見守りカメラを設置すべきではないかと指摘したところ、「こどもの

十分な見守りのために必要なので検討していく」との方針を示しました。



「開かれた学校づくり」へ論戦

【選考基準を公表せよ】

教員の資質を見極める教員採用試験に注目が集まる中、全国68都市のうち、配点や選考基準を公表していないのは神戸市教育委員会のみであることに言及。「採用選考の透明性を二層高め、優秀な人材確保の目的で、選考基準を公表すべき」と質しました。教育長は「来年度の採用選考に間に合うよう公表する」と約束しました。

【教員の役割責任を明確に】

校長・教頭と同様に、教員を指導する立場の主幹教諭の校務の進捗や結果を評価する仕組みがないことに言及。その上で「教員の多忙化を解消していくためにも教員一人一人の役割・責任を明確にし、校長、教頭、主幹教諭、一般教

諭の役割を明確にするべき」と質しました。「主幹教諭を評価する制度検討とあわせて教員の役割・責任を明確にし業務の標準化を行う」と答えました。



【学校評議員制度の見直しを】

学校が作成する自己評価に対して意見を述べる学校評議員制度が固定化しており、「学校の活

性化や具体の改善に結びついていない」と訴え、制度の見直しを求めました。教育長は「評議員の入れ替え制や民間事業者も入れる

等制度の見直しを行う」と約束しました。

預かり保育の負担を軽く

【幼保実態調査踏まえ質問】

公明党が取り組んでいる幼児教育・保育の無償化に関する実態調査から浮かび上がった課題への対応を求めました。

預かり保育の利用料が無償化の上限11300円に収まらない場合もあることから、近隣の西宮市では独自の助成を行っていることに言及。「神戸市独自で助成を行い保護者の負担軽減を図るべき」と求めました。副市長は「今後の利用者の動向を見ながら子育て施策全体の中

で検討していく」と答えました。

また、事業者の「新たな預かり保育の需要に対し現状の部屋や保育人材では応じきれない」との声をふまえ、「保育士確保の観点等から人件費等の運営費用について事業者に補助を行うべき」と質しました。副市長は「事業者の負担軽減のために障がい児に対する運営費補助枠の新設とあわせて検討する」と約束しました。



成人式は従来通り開催

令和4年4月に改正民法が施行され、成年年齢が18歳に引き下げられることを受けて、成人式の対象はどうなるのかとの問いに対して、久元市長は「対象は20歳、

開催時期も現行通りが妥当」との方針を明らかにしました。

